

ともに励まん



北海道旭川^{えいりょう}永嶺高等学校2年次だより 第28号 (通巻73号)

2018, 10, 18 (木)

いよいよ出発5日前

本日しおりで机上旅行

見学旅行の鉄則

年次集会でも言ったところですが、学校生活のように、教室で連絡事項が伝達されるようなわけにはいきません。基本的にはすべて、「しおり」に書かれてあるので、つねに次の行動をしおりで確認すること。

ただし、現地で決まる事項もある。「〇〇係は△△に集合」とか、「〇〇の忘れ物ありました」とか、「荷物送りの発送受付場所の連絡」だとか。ホテル入り口の掲示板に書かれることもあるし、班長会議で伝達されることもある。バス内で連絡事項がある場合もあるし、空港や駅のコンコースで1列隊形や2列隊形で集まっているとき、マイクもない状態で、トイレ休憩、〇〇時集合、とか言われたりするわけです。

とにかく、団体行動で一番大切なことは、後れをとらないこと。一人の遅れが300人の遅れにつながる。そのためには、つねに次の行動を意識していることと、情報伝達に敏感であること。

今回の旅行で、団体旅行の良さと不便さ、十分に体験してほしいと思います。

***千歳で搭乗券2枚もらいます(千歳～羽田、羽田～広島)。絶対絶対絶対なくさないこと！**



いざ！というときの対応術

危機対応。班別自主研修中に、何かあったときどうするか？

迷子になったからと言って、旭川のおうちに電話かけても仕方がないんだよ。

まずは、引率団の代表携帯に電話する。担任の連絡先がわかっているらそちらでもよい。どこで、誰が、どうしたのか。的確に伝達する。

もっと急を要するような場合。近くの大人に助けを求める(警備員や駅員など制服を着た人がいいると言われる)、コンビニなどに駆け込む(が、案外コンビニの店員は当てにならないこともある。道を聞いても自分はこの近所に詳しくないと断られたり、外国出身の店員さんも増えているし)。場合によっては救急車、110番。公衆電話の活用ということも、とっさの時には思い出して！

よくあるのが、友だち同士の連絡で、ライン回したから、とか、メール送ったから、といった、実は当の相手はそれに気づいていなかったことから起きる行き違いやトラブルだ。

病気、ケガ、事故、落とし物、迷子、はぐれ、帰着遅れ、スリ、ひったくり、神頼みができない(神無月だから)・・・なにがあるかわかりません。 *身分証明書としおりは常に携帯！

リュックの前抱えマナー



先日バスに乗ったら、おそらく中学生ではないかと思うのだが、大量に制服の生徒が乗っていて、すし詰めでした。私の目の前に立っていた、染色パーマ頭の女の子が背負っていたのは、(いまは何というのかわからないんだけど)箱形のスクールバッグ(スクバ?)。あれって、地べた(床)に置くものだよな? 底面は、汚いよね? その底面を人に向けて背負っている状態、わかりますね。混んでるもんだから、それが私の胸元にぐいぐい押されてくるんだわ。じつに不潔、不快感100%だったなあ。

ところでみなさんは、冬期間バスに乗る人が多くなりますが、混んでいることと思います。リュック派が多いと思いますが、リュックはどう持っていますか? 普通に背中にしょっているよね?

いま、東京方面ではリュックの「前抱え」といって、背中に背負ったままではなくて、胸側に抱きかかえるようにして混んでいる電車などに乗るのが「マナー」として浸透しているのだそう。たしかにこの方が人にぶつけるなどの迷惑にならないし、乗り降りするにも互いにスムーズ



になるんですね。もしくは片手にぶら下げ持つ、ということで、背負ったままで乗る派は少なくなりつつあるんだとか。ただし関西ではあまり浸透していないということです。こんどの見学旅行で観察してみよう。インバウンドも多くなり、東京オリンピックもあることで、こんな「気遣い」マナーの浸透は、いいことなのでしょう。

エスカレーターの片側空け（関東以北では右側、関西では左側という）は必要ないと思うんだけど、リュックの前抱えはいいかもしれない。前任校時代、バス通勤していて、それは痛感しましたね。

広島の惨禍に学び、伝えるべきこと

1945（昭和20）年8月6日午前8時15分。広島市の上空580メートルで原子（ウランウ）爆弾が炸裂しました。上空580メートルとはどのくらいの高さなのか。広島平和記念資料館に、市街地と、上空で炸裂する爆弾の位置関係がわかるジオラマ（模型）が展示されているはず。しっかり見てきましょう。



いま「原爆ドーム」と呼ばれる建物のそばにある「相生橋」には「T」字になるようにもう1本の道が接続しており、上空から見ると格好の標的となったものらしい。ここに向けてB29（エノラゲイ号）がウラン爆弾を投下します。

その43秒後、爆発と同時に巨大な火の玉となって、強烈な熱線と放射線を四方八方に放ち、まわりの空気に急速な大膨張を起こさせて、台風をものぐ強圧の爆風を生み出した。爆心直下の熱線の温度は6,000℃。湧き上がったキノコ雲は上空1万2千メートル以上に達したそうです。我々が乗るジェット旅客機の飛行高度は、約1万メートルです。

6,000℃の熱風。想像もつきません。たとえとして適切かはわかりませんが、人が亡くなって火葬されるときに温度が800～1,200℃とのことですから、いかにすさまじいか。一瞬にして人も建物も焼き払われたのです。瞬時に黒焦げになった人や立ったまま亡くなった人もいたということに驚きますが、熱線で皮膚が溶けて苦しむ人、爆風でガラスなど様々なものが体中に突き刺さったまま満足な治療も受けられなかった人、1ヶ月くらいたってから放射線の影響で亡くなっていく人、人、人・・・。

1945年の年末までに、広島では約14万人（うち、2週間以内に亡くなった人は90%）との記録があります。こんなにもむごたらしい兵器があるのでしょうか？ さらに3日後には長崎にも投下されます。そして現在、世界には、当時の何倍もの威力を持った核兵器を、十指を数える国々が保有しているとされます。人類が何度でも全滅する破壊力とのことです。

今回の見学旅行の目的の一つには、「平和を学ぶ」ことが掲げられています。平和を学ぶとはどういうことか。戦禍の実相を学ぶこと。しかし、それだけでは足りません。それをどう子孫に伝えていくか。そして、地球上からこんな恐ろしい兵器がなくなるには、さらには戦争や紛争によって人間が不幸にならないためにはどうしたらよいか、考えることだと思います。被爆体験講話、しっかり聴きましょう。



☆☆☆見学旅行後までの行事と時間割☆☆☆

10月		行事等 ①②は、1校時2校時をあらわします		★時間割を確認しよう						
				①	②	③	④	⑤	⑥	⑦
22	月	見学旅行結団式・最終頭服点検・LHR	6時間							
23～27	火土	見学旅行 *出発日の朝は早いぞ！								
29	月	2年生振替休業								
30	火		7時間							
31	水		6時間							
11/ 1	木	年次集会(6)	7時間							
2	金		6時間							
3	土	進研11月模試（英数国全員＋理社選択）	6時間							

しおり完成！ よく読み込んでおくように。そして持参し忘れないこと（身分証明書も）！！（文責 伊丸岡）